

第三者意見

私たちは何のために存在するのか。個人・企業・地域社会関係なく、これからの時代、この地球上に暮らす誰もがこの問いに対して向き合い、境界線のない社会の実現に向けて対話を重ね続ける必要があります。

新たに策定されたパーパス「おいしさと笑顔を地域の皆さまに」では、日本マクドナルドらしい、すべてのステークホルダーと一緒に歩んできたこれまでの軌跡と、地域の皆さまのために歩んでいきたいこれからの未来に対する想いが明文化されています。

パーパスを実現するために注力している4つの領域——「安心でおいしいお食事を」「地球環境のために」「地域の仲間にサポートを」「働きがいすべての人に」では、公正かつ透明性のある企業経営の姿勢が見られます。

新型コロナウイルスに対応しながら、私たちの健康にとって重要である「安心安全」な食を、今の時代に合った方法で提供し続けています。2020年度より一部店舗で導入開始した「デジタルフードセーフティ」の全店舗展開がその一例です。地球上にあるすべてのものは大切な資源だからこそ、「環境」を考える必要もあります。前年と比べてプラスチック廃棄物量が増えています。お客様提供用パッケージにおいてFSC®認証の紙使用率100%達成の成功事例と同様に、紙製ストロー・木製カトラリーの導入を通じたワンウェイプラスチックの大幅な削減を望みます。子供は未来の宝であり、「地域」に関しては、幅広い業界とのパートナーシップを通じた子供たちに向けた教育活動が際立っています。働く人々の笑顔があつて、受け取る側も笑顔になります。多様な人材、働き方、そしてキャリア開発の推進を通じて、SDGsが目指す「誰一人取り残さない」社会へのコミットを感じます。

パーパスを起点としたESG（環境・社会・ガバナンス）経営のリーディングカンパニーとして、あらゆる「笑顔と笑顔」を繋ぐSmileの架け橋となることを期待しています。



WORLD ROAD株式会社 共同代表
青年版ダボス会議 One Young World 日本代表

ひらはら いぶん
平原 依文